



ロータリーは機会の扉を開く



●会長／中村文彦

●幹事／今野克久

●公共イメージ向上委員長／斎藤将彦

例会日／毎週木曜日12時30分 例会所／新潟市中央区川端町6丁目53 ホテルオークラ新潟 TEL:025-224-6111

事務所／〒951-8062 新潟市中央区西堀南通6番町905番地 第二西堀ビル5階 TEL:025-222-5050 FAX:025-222-5051

創立年月日／昭和50年6月5日 RI加盟年月日／昭和50年6月25日

第2,169回

2020・10月1日

本日の例会案内(10月1日)

卓話

『回顧と未来～奨学生としての私～』

前米山奨学生 李 鈺さん

第2167回 2020年9月17日例会報告

点 鐘

会長挨拶 中村会長

本日は、ロータリー学友についてお話をします。以前は、ロータリー財団学友といわれ、ロータリー財団補助金を受けた者で組織を作り、そうした人たちの経験を有効に活用することを目的にしておりました。

2014年10月理事会、第38号において、ロータリー財団の枠が取り払われ、ロータリー学友となり、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ロータリー平和フェロー、国際親善奨学生、研究グループ交換(GSE)参加者、グローバル補助金と地区補助金による奨学生、職業研修チーム(VTT)メンバー、ロータリーボランティア補助金、大学教員のための補助金、およびカールPミラー助成金の受領者、その他のロータリープログラムに参加した経験のある人々からなる組織となりました。

2015年1月の理事会 第117号において、学友会は、奉仕と親睦を追求するために結成された組織であると定義されました。

米山学友会とは、学友(奨学期間を終了した元米山奨学生)と現役奨学生によって組織されている会です。学友会は、日本では33団体、海外には9(韓国・台湾・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー)にあります。母国での海岸清掃や貧しい子どもへの支援などの奉仕活動を行ったり、ロータリークラブと連携しながら地域貢献活動を行っています。

奨学期間を終了した学友は、基本的には勤務先、もしくは自宅住所のあるロータリー地区の学友会に参加することが多いです。米山奨学会に登録されている住所によって、各地区の学友会へ自動的に登録され、行

事の案内が通知されます。他の学友会への登録変更も可能です。

現在の米山奨学生の状況です。

2020 学年度の米山記念奨学生

奨学金プログラム別人数

奨学金プログラム	人数
学部課程	345人
修士課程	241人
博士課程	237人
地区奨励	17人
クラブ支援	13人
海外応募者対象	28人
海外学友会推薦	2人
合計	883人

※2020年7月1日現在

国籍・地域別人数

中国	341人
ベトナム	121人
韓国	73人
マレーシア	49人
インドネシア	36人
モンゴル	32人
台湾	31人
ネパール	29人
ミャンマー	18人
その他	153人
合計	883人

※2020年7月1日現在

国籍・地域別 学友数累計ランキング (2020 学年度を含む)

1	中国	7,406人
2	韓国	4,592人
3	台湾	3,527人
4	ベトナム	1,149人
5	マレーシア	1,007人
6	インドネシア	463人
7	タイ	350人
8	バングラデシュ	346人
9	ネパール	303人
10	モンゴル	302人
累計		21,624人

ロータリー米山記念奨学会は、はじめ東京クラブのプロジェクトとして発足したもので、日本ロータリーの創始者米山梅吉翁の逝去にあたり、その偉業を記念したものです。奨学金授与の対象は主として東南アジアからの私費留学生で、現在日本の大学(主として大学院)に在学している学生に学資の補助を行うものです。資金は日本全地区のロータリアンからの一定額の寄付金(普通寄付)と、それ以外の個人、法人、クラブからの寄付(特別寄付)によって賄われます。なお特別寄付金は免税の特典があります。

留学生を扱うには世話クラブとカウンセラーが指定され、学生との交流、親睦にあたり、国際理解と親睦の実を上げるよう計画されています。

なお、米山奨学会は2007年RIと日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動として、手続きが完了しました。2012年に文部科学省の許可を得て公益財団法人となり、民間の国際奨学金団体としては日本最大の規模に成長しました。

2012年ロータリー米山記念奨学会は公益財団法人化され、日本のロータリアンの支援を得て、寄付額も伸び、事業面でも素晴らしい発展をしており、2019年7月現在、ロータリー米山記念奨学生は現役奨学生も含めて約21,023名となりました。米山学友は、学友会を組織して活発な奉仕活動を行っております。国内には、33の米山学友会があり、国外では、台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマーなど、これからも多くの学友会が組織されることでしょう。母国に帰った学友からの米山記念奨学会への寄付が送られており、台湾の学友会では日本から二人の奨学生を引き受けております。

米山奨学生に奨学金・終了証の贈呈

李 鉦さん 挨拶

伝達

米山奨学生カウンセラー 感謝状 小林千鶴君

公共イメージ向上委員会 斎藤委員長

『ロータリーの友』9月号紹介

親睦委員会 中山委員長

今年の月見例会は一泊ではなく岡田さんで開催します。

米山奨学委員会 姉崎委員長

田中壮一君から1万円いただきました。

国際奉仕委員会 馬場委員

昨年に引き続き10月1日にペットボトルキャップを集めます。

野球同好会 鈴木キャプテン

この後の抽選会で組み合わせが決定します。

10月17日に大会の案内を送ります。

卓話

「ミセスコンテスト世界大会で得たこと」

(有)光明舎 ささがわコンタクトレンズ 代表取締役

Mrs. インターナショナルグローバル

笹川 正子氏(長岡西RC)

第2167回 2020年9月17日例会報告

9/17	会員数	出席者数	欠席者数	出席率
	38(37)名	31名	6名	83.78%
9/3	メイクアップを含む出席者	メイクアップ後欠席者数	メイクアップ後出席率	月出席率
	30名	7名	81.08%	

第2168回 2020年9月24日例会報告

点 鐘

会長挨拶 中村会長

本日は、基本的教育と識字率向上についてお話を致します。

私たちは、当たり前のように教育を受けてきました。この教育についてのエピソードです。

学びは贅沢品です。これは塾講師である林修氏の言葉です。

ある高校生が林先生に質問をしたそうです。

勉強する気にならない、勉強する気になるにはどうしたらいいかということを知ったそうです。そこで先生は、やめちまえ、勉強は贅沢品だといったそうです。

あなたのためにお父さんやお母さんが一生懸命働き、つらいことを乗り越え、仕事で得た給料であなたに投資をしている。わかっていない。そんなこともわかっていないものに学ぶ資格はない。とおっしゃったそうです。

そこで、学びについて考えました。

学びという贅沢を人生の豊かさに転換するということです。

今日、銃で打たれる、背中を刺されるなんて思わず生活をしています。世界中にはたくさんそんな中で生活している人がいます。今日も生きられた。それで十分。自分たちはそのように思って生活はしていません。

すでに、私たちは贅沢になっています。

豊かな日本に生まれたことを幸せに思うとともに、恵まれない子供たちに少しでも支援が出来たらいいと思います。

国際奉仕委員会 馬場委員

・10月1日の第一例会でキャップ回収を行います。

・カウンセラーした元米山奨学生の李さんの出産報告について

ニコニコBOX 紹介 諏佐委員

馬場伸行君 私がカウンセラーをした李さん、無事女の子を安産で出産しました。おめでとう。

ニコニコBOX 総計 115,000円

幹事報告 今野幹事

・例会終了後に定例理事会を開催いたします。

・RI第2560地区2020-2021年度地区大会の4月18日(日)への延期について

卓話

『犯罪被害者の支援活動』

公益社団法人 いいがた被害者支援センター

専務理事 兼 事務局長 井口 善雄氏

第2168回 2020年9月24日例会報告

9/24	会員数	出席者数	欠席者数	出席率
	38(36)名	28名	8名	77.78%
9/10	メイクアップを含む出席者	メイクアップ後欠席者数	メイクアップ後出席率	月出席率
	28名	8名	77.78%	